

平成28年度
各委員会事業活動報告書



全国理美容製造者協会

全国理美容製造者協会

平成28年度事業活動概要(調査委員会)

| | 事業名 | 時期 | 概要 |
|---|----------------------------------|---------------------|---|
| 1 | 理美容商品等の市場調査 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | NBBA会員会社のカテゴリー別商品出荷ベースによるマーケットシェアの分析を実施。 |
| 2 | 理容室/美容室男性ユーザー 利用意識NET調査(春期調査) | 平成28年5月9日～ 15日 | <p>男性ユーザーの理容室/美容室の現利用店舗評価、店舗選択行動、ヘアスタイル意識の調査を実施。</p> <p>調査方法:インターネット調査 調査エリア:全国 対象者:15歳～69歳までの男性 集計サンプル数 1,800(各世代300) ※合計については、人口構成比でウェイトバックをかけ集計 ライフメディア(旧iMiネット)アンケートモニター会員 ※10代については、クロスマーケティングからも取得した 調査期間:2016年5月9日(月)～5月15日(日) 調査実施機関:㈱東京サーベイ・リサーチ ※本年度は基本質問項目のみの調査</p> |
| 3 | サロン女性ユーザー 意識NET調査(秋期調査) | 平成28年10月7日～ 13日 | <p>サロンユーザー(女性)の現利用サロンの評価、サロン選択行動、ヘアスタイル意識等を実施。</p> <p>調査方法:インターネット調査 調査エリア:全国 対象者:15歳～69歳までの女性 集計サンプル数 5,300 10代を300サンプル 20～60代を各1000サンプル ※合計については、サンプル数のみの集計を行う方式から、人口構成比でウェイトバックをかけ集計。 ライフメディア(旧iMiネット)アンケートモニター会員 ※10代については、クロスマーケティングからも取得 調査期間:2016年10月7日(金)～10月13日(木) 調査実施機関:㈱東京サーベイ・リサーチ</p> |

全国理美容製造者協会

平成28年度事業活動概要(アカデミー委員会)

| | 事業名 | 時期 | 概要 |
|---|---------------------|----------------------------|--|
| 1 | 第15回 NBBAカレッジ(継続事業) | 平成28年11月 10日・11日 | <p>目的: 会員会社の社員に対して、理美容業界の活性化及び社員の資質の向上を図るため、レベルの高い研修を開催。</p> <p>テーマ: 「モチベーションとチームワーク」</p> <p>会場: 大阪/11/10(木)会場: ロリアル大阪・東京/11/11(金)会場: タカラ代々木美容会館</p> <p>講師: 東京会場: 元読売ジャイアンツ 駒田徳広氏 大阪会場: 柔術家/プロMMAコーチ 植松直哉氏</p> |
| 2 | 臨時セミナー開催 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>結果: 美容環境や労働環境における課題に関する研究を目的に実施する予定でしたが、日程等が合わず次年度に延期した。</p> |
| 3 | 第15回海外視察ツアー | 平成28年10月11日 ～ 10月13日 | <p>目的: 美容環境における課題や解決のヒントを海外に学び、社員の資質の向上を図る。</p> <p>趣旨: 発展著しいアジアの理美容事情の視察(教育制度、資格制度、流通の仕組み、消費動向など)レポートと今回はジャーナルの方々も同行、現地サロンの方々と交流を図る。</p> <p>視察先: 台湾(台北中心)・・・サロン・代理店・学校視察及びサロンの方々との交流</p> <p>参加数: 13名(内プレス2名)</p> |

全国理美容製造者協会

平成28年度事業活動報告(環境委員会)

| | 事業名 | 時期 | 概要 |
|---|--------------------|---------------------|--|
| 1 | アルミチューブ回収取り組みのフォロー | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルミチューブ回収を実施しているサロン・地域に対して、支援を行う。 6月24日 岩手県美容生活衛生同業組合一関支部長の薄井様よりアルミチューブ回収についての問い合わせがあった。 ・これまでに実施された地域、サロンでの成功事例、失敗事例を整理し、今後の実施要望に速やかに対応できる準備をする。 5月17日 秋田県美容生活衛生同業組合 常務理事 明石徹様にアルミチューブ回収再開の経緯を確認 8月22日 秋田県にアルミチューブ回収用オリコン20箱を支給した。 10月31日 東理組のアルミチューブ回収の現状について報告を受けた。 |
| 2 | 廃棄物のリスク管理 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理で起こったトラブル事例の研究を行い、リスク管理に繋げる。 ・廃棄物処理に対する行政の対応の研究を行う。 6月2日 「廃棄物リスク管理」セミナーを実施 7月29日 セミナー受講 「環境法の最新動向と企業の対応方法」(安達宏之氏) 「法改正への対応と委託の盲点対策」(尾上雅典氏) 2月15日 「環境法の最新動向と企業の対応方法」(安達宏之氏) 2月20日 「カラー剤チューブリサイクル」(尾上雅典氏) |
| | 環境関連施設見学 | | 7月13日 花王エコラボミュージアムおよび三重中央開発(廃棄物処理場)見学 |

| | 事業名 | 時期 | 概要 |
|---|---------------|---------------------|---|
| 1 | NBBA活動の認知向上 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>◆目的「NBBAの活動自体の認知向上：継続事項」 サロン市場への真の貢献に繋がるようNBBAの活動を継続的に発信。協会活動の理解の拡大と認知向上を目指す。 メディアや団体との新たな取り組みの受け皿となるべく、Webコンテンツとシステムの強化を図る。</p> <p>◆活動内容</p> <p>①HPの内容充実とメンテナンス強化 ・サロンユーザー調査の更新を完了(80P)。 ・事業報告書、事業計画書の更新を完了。 ・サロンユーザー調査データのハイライトビジュアルの更新を完了(30P)。 ・数社の社名変更、ロゴ変更に伴う、更新およびオープニング動画の改修を完了。 ・オープニング動画をYou Tube対応に改修を行った。</p> <p>②サロンユーザー調査の活用強化 ・メディア、業界団体との良好な関係作りと積極的なコミュニケーションを図るべく、業界内外メディア41社に加えて、「業界35団体」に広報、調査連名で「サロンユーザー調査」と告知チラシを送付(6月)。 ・「美容の新しい価値」シンポジウムで「サロンユーザー調査」「ハイライト版」「読み解きトピックス」をCD化して参加者に配布した(8月30日に約350PCS。)</p> <p>③データから見る「ユーザー調査データ読み解きトピックス」の継続</p> |
| 2 | NBBAの新しい活動の創造 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>◆目的「NBBAの新しい活動の創造」 美容業界の将来を見据えた、「課題や貢献事業」に関する活動を広報委員会と各委員会が連動で企画、「NBBAの価値確立への行動」を具体化し新しい市場の創造を目指す。</p> <p>◆活動内容</p> <p>①他委員会との連動強化 ・アカデミー委員会セミナーのレポート掲載、海外ツアーへのジャーナル(2社)の誘致とアテンド。 ・6月総会後のジャーナル記者会見の運営を行った。 ・12月のNBBA忘年会の運営を行う。</p> <p>②他団体への活動支援 ・[日本パーマメントウェーブ液工業組合]と連動で「パーマ」に関する意識アンケートを行い、NBBAとして関係会社共同でサロンスタイリスト(N:820)のアンケートを収集した。 パーマエ組のエンドユーザー(N:2700)アンケートとスタイリストアンケートのクロス分析を行い、双方の「パーマ」への意識の差異を調査委員会と連動で分析を行った。、サロン市場の活性化に向けた団体連携活動のひとつとして、パーマエ組、NBBA双方でPRし、課題の共通認識のもと共同で活動していくきっかけとして継続したい。</p> |
| 3 | ホスティング | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>①問題なく管理した。</p> |

全国理美容製造者協会

平成28年度事業活動概要(流通委員会)

| | 事業名 | 時期 | 概要 |
|---|------------------|---------------------|--|
| 1 | 業界流通システムの標準化推進活動 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>目的:業界に対する最新の流通システム情報の提供を行い、EDIの推進をはかり業界全体の効率化を目指す。</p> <p>①流通オープンセミナーを東京・大阪で開催 ②NBBA楽々注文ねっと状況 5月報告 445社から発注あり</p> |
| 2 | 業界標準流通システム構築事業 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>目的:業界内の標準化をはかり、業界全体の情報システム化とコストダウンの推進し、業界全体の効率UPを図る。</p> <p>①.「NBBA楽々注文ねっと」サービス内容拡充 下記2点の改修実施。 1. 過去データ削除の自動化 2. お届け先初期設定値変更 納品書データのPDF化については、次年度以降継続検討いたしました。</p> |
| 3 | 流通システム研究 | 平成28年4月～ 平成29年3月 | <p>目的 理美容業界内の物流システム全般を考察し、業界全体の効率化に寄与する仕組みの研究を行い業界の方向性に何らかの判断情報を提供できるようにする。</p> <p>物流システム研究 ①. 物流研究実施 モデル代理店を設定し、課題の抽出を行い、ヒアリングを実施した。 ヒアリング結果に基づき、データを収集し改善点のあぶり出しを行った ②. 関東地区代理店ヒアリングを計画実施。</p> |